

聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：24単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
1	青年心理学	2	2	藤掛 明	法務省少年鑑別所、少年院、刑務所	時代とともに変化し、多様化してきている青年期の心理的課題について概要を知ることができる。また、青年期にある自分自身について深く知ることができる。(1) 青年期に起こりがちな心理的問題や、関連した社会病理現象をとりあげ、その理解や援助・解決の道筋を考える。(2) 同時に青年期にある自分自身を洞察し、実際のアセスメント技法を体験しながら、体感的に学ぶことを心がける。※「認定心理士」資格では、「選択科目f」(教育心理学・発達心理学)に区分される科目である。
2	心理学的支援法	3	2	藤掛 明	法務省少年鑑別所、少年院、刑務所	心理療法の目的、対象、およびそれぞれの心理療法の効果と限界について理解することを目標とする。心理療法の前提となる「臨床の知」を理解し、そのうえで、代表的な心理療法の方法と効果・限界について学ぶ。さらには、心理学的支援の基礎となる良好な人間関係を築くためのコミュニケーション方法や、心理療法を進める上での実際の問題、倫理的問題(クライアントへの配慮)についても学ぶ。また、訪問による支援や地域支援、さらには心理的支援を要する者の関係者に対する支援、心の健康教育等幅広く学んでいく。
3	現代社会と福祉	1	4	中谷 茂一	埼玉県子どもの権利擁護委員会調査専門員(非常勤相談員)	・現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。・福祉政策の課題について理解する。・福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。・福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。・相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。・現代社会における福祉制度と福祉政策・福祉の思想と哲学・福祉制度の発達過程・福祉政策におけるニーズと資源・福祉政策の課題・福祉政策の構成要素・福祉政策の関連領域・福祉政策の国際比較・相談援助活動と福祉政策の関係
4	精神保健福祉に関する制度とサービス	2	4	相川 章子	病院デイケアスタッフ、保健所デイケアグループワーカー等	① 精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する。② 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。③ 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。④ 更生保護制度と医療観察法について理解する。⑤ 社会資源の調整・開発に係る社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する。⑥ 精神保健福祉法の意義と内容⑦ 精神障害者の福祉制度の概要と福祉サービス⑧ 精神障害者に関連する社会保障制度の概要⑨ 相談援助に係わる組織、団体、関係機関及び専門職や地域住民との協働⑩ 更生保護制度の概要と精神障害者福祉との関係⑪ 更生保護制度における関係機関や団体との連携⑫ 医療観察法の概要⑬ 医療観察法における精神保健福祉士の専門性と役割⑭ 社会資源の調整・開発に係る社会調査の意義、目的、倫理、方法及び活用
5	精神障害者の生活支援システム	2	2	田村 綾子	病院医療福祉支援室、企業健康管理センター	① 精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する。② 精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。③ 職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動(その他の日中活動支援を含む。)について理解する。④ 行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する。⑤ 精神障害者の概念⑥ 精神障害者の生活の実際⑦ 精神障害者の生活と人権⑧ 精神障害者の居住支援⑨ 精神障害者の就労支援⑩ 精神障害者の生活支援システム⑪ 市町村における相談援助⑫ その他の行政機関における相談援助
6	心理学概論	1	4	堀 恭子	神奈川県公立学校(中・高)スクールカウンセラー・同教育相談員	・心理学理論によるヒトの理解とその技法の基礎について理解する。・ヒトの成長・発達と心理との関係について理解する。・日常生活と心の健康との関係について理解する。・心理的支援の方法と実際について理解する。・心理学の特徴と歴史・ヒトの心理学的理解・ヒトの成長・発達と心理・日常生活と心の健康・心理的支援の方法と実際
7	心理学実験	2	2	大橋 良枝 堀 恭子	サイコセラピスト、埼玉県非常勤特別講師 神奈川県公立学校(中・高)スクールカウンセラー・同教育相談員	心理学における実験的研究の基礎を習得する。そのため、心理学の基礎実験・実習を経験するとともに、得られたデータを分析・考察してレポートに毎回まとめることを通じて、実験的技法・実証的手法の体系的な知識を確実に身につける。心理学の基礎的な実験としてよく知られているものを取り上げる。知覚・認知・社会などの領域を中心に、実験・調査方法について、実験者(調査者)及び被験者(回答者)として参加体験する。実験器具の関係で、20名程度のグループに分かれて実習する。※「認定心理士」資格では、「基礎科目c」(心理学実験実習)に区分される科目である。
8	精神科リハビリテーション学A	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	① 精神医療の特性(精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む。)と精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。② 精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。③ 精神保健医療福祉の歴史と動向④ 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識⑤ 精神科リハビリテーションの概念と構成⑥ 精神科リハビリテーションのプロセス
9	精神科リハビリテーション学B	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	① 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション(精神科専門療法を含む。)の知識と技術及び活用の方法について理解する。② 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク(地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む。)の実際について理解する。③ 医療機関における精神科リハビリテーション(精神科専門療法含む)の展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割④ 精神障害者の支援モデル⑤ 地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方⑥ 精神障害者のケアマネジメント